

作成要領(記載例)[この例は、第2・四半期概算払請求書提出時を想定しています]

- ★ 黄色の項目のみ、入力又はプルダウン選択してください。
- ★ 赤色は、入力エラーが生じている箇所ですので、入力内容を確認してください。
- ★ 記載にあては、必ず「作成要領」シートをご確認ください。

[A]基本情報

| | | | |
|------------------|-----------|--------------------|---------------------------|
| 機関番号 | 99999 | 機関名 | 日本学術振興大学 |
| 提出日 | 2024/6/18 | 提出時期 | 【様式3】第2・四半期雇用支援金概算払請求書提出時 |
| 提出時の雇用対象者数(予定含む) | 9 | 提出時フェローシップ受入れPO等人数 | 2 |

【様式3】雇用支援金概算払請求書提出時【B】も記入してください。

- 【I】今期に必要な雇用支援金請求額、(a)雇用支援金の執行状況等における(4)~(7)(各請求予定額)と同期となる。
- 【II】これまでの請求額(交付額)の合計、【様式3】における「雇用支援金(b)の金額」。
- 【III】これまでの実績額(交付額)の合計、(a)雇用支援金の執行状況等における(4)~(7)(実績額合計/雇用支援金執行済額)と一致。
- 【IV】【I】から【III】の差額、(a)雇用支援金の執行状況等における(8)執行状況の差額(実行分)。
- 【V】今期の請求額(実行分)、【I】から【III】の差額。
- 【VI】執行残額が生じている場合にはその理由を記載。

[B]請求に係る情報

| | |
|--------------------|-----------|
| 【I】今期の必要請求額 | 7,854,000 |
| 【II】概算請求額 | 8,340,000 |
| 【III】これまでの実績額(交付額) | 8,578,000 |
| 【IV】執行済額(交付額) | 382,000 |
| 【V】今期請求額 | 7,492,000 |

[C]雇用支援金の執行状況表

| ①(前期)交付申請額 | ②(前期)交付決定額 | ③請求予定額合計(概算請求額合計) | 第2四半期 | | | | 第3四半期 | | | | 第4四半期 | | | | 交付決定額合計(=②-③) | 非決定額合計(=③-②) |
|------------|------------|-------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|-------|---|---|---|---------------|--------------|
| | | | 交付申請額 | 交付決定額 | 請求予定額 | 実績額 | 請求予定額 | 実績額 | 請求予定額 | 実績額 | | | | | | |
| 31,760,000 | 31,760,000 | 32,990,000 | 8,340,000 | 8,340,000 | 7,854,000 | 7,854,000 | 7,854,000 | 7,854,000 | 7,854,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

[D]支給対象者数表

※基本的に、JSPD確認用のため編集不要

| 支給対象雇用PO | 第2・四半期小計① | | | | | | | | | | | | 第2・四半期小計② | | | |
|--------------------|-----------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----------|---|---|---|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | |
| 支給対象雇用PO人数 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 雇用PO+雇用PO区分雇用支援金請求 | 2,240,000 | | | | | | | | | | | | 6,516,000 | | | |
| 雇用PO区分雇用支援金請求 | 1,328,000 | | | | | | | | | | | | 1,328,000 | | | |
| 合計 | 8,578,000 | | | | | | | | | | | | 7,854,000 | | | |

[E]雇用PO等に関する情報(※1)

PDFで提出する際には、非表示とすること。

| 雇用PO等の基本情報 | 所属・職名 | 特別研究員採用区分 | 雇用予定期間(※2) | 雇用PO等1人あたりの支援金総額の支出状況(今年度見込)(※3) | 雇用支援金の支出状況(※4) | 1人あたりの支援金総額の支出状況(今年度見込) | 特別研究員状況(※5) | 日本学術振興会への連絡事項(※6) |
|------------|-------|-----------|------------|----------------------------------|----------------|-------------------------|-------------|-------------------|
| 氏名 | 職名 | 採用区分 | 雇用開始年月日 | 雇用終了(予定)年月日 | 今年度見込 | 今年度見込 | 雇用状況 | 連絡事項 |

[D]雇用PO等に関する情報(※1)

PDFで提出する際には、非表示とすること。

| 雇用PO等の基本情報 | 所属・職名 | 特別研究員採用区分 | 雇用予定期間(※2) | 雇用PO等1人あたりの支援金総額の支出状況(今年度見込)(※3) | | 雇用支援金の支出状況(※4) | | | | | | | | | | | | 1人あたりの支援金総額の支出状況(今年度見込) | | 特別研究員状況(※5) | 日本学術振興会への連絡事項(※6) | | | |
|------------|-------|-----------|------------|----------------------------------|-------|----------------|--------------|--------------|--------------|-------|-------|----|----|-----|-----|-----|-----|-------------------------|----|-------------|-------------------|-----|------|------|
| | | | | 今年度見込 | 今年度見込 | 第1・四半期支出について | 第2・四半期支出について | 第3・四半期支出について | 第4・四半期支出について | 今年度見込 | 今年度見込 | | | | | | | | | | | | | |
| 氏名 | 職名 | 採用区分 | 雇用開始年月日 | 雇用終了(予定)年月日 | 今年度見込 | 今年度見込 | 4月 | 5月 | 6月 | 小計① | 7月 | 8月 | 9月 | 小計② | 10月 | 11月 | 12月 | 小計③ | 1月 | 2月 | 3月 | 小計④ | 雇用状況 | 連絡事項 |

- ※1 雇用PO等の基本情報
- ① 当該年度に入力する(予定を含む)。全てのPO(資格変更POを除く)。、RPD及びCPDを記載してください。フェローシップ受入れのPO等については、太字欄(セルB-E, J-A)のみ記載してください。
 - ② 雇用開始・終了の区分は、特別研究員としての当該期間(本会からPO等へ発行した採用決定通知に記載された採用期間)を雇用期間の下限とすることを前提としCPD等を使用することとなります。
 - ③ 雇用予定期間には、本事業によって雇用する見込みの期間を記入してください。
 - ④ 受入研究員職種の変更等により、年度途中から雇用期間を変更する場合は、「前年度までの支給実績」(研究助成金、雇用支援金)については、雇用開始時点の情報としてください。また、「今年度請求予定額」については、雇用開始時点の金額としてください。
 - ⑤ 「特別研究員より前職の職名(例えば、第2・四半期の概算請求書提出時点であれば、第1・四半期の状況)については、各月の金額について実績額とし(減額等により見込と発生した場合は)、再予定額をプルダウンで「実績額」にしてください。
 - ⑥ 「特別研究員職名」は雇用開始時点の職名を記載してください。また、前職の職名から今回の職名に変更があった場合は、「前職からの変更の理由」について、「科」を選択し、その理由も選択してください。詳細は備考欄に記載してください。
 - ⑦ 備考欄には、交付申請時、第1・四半期交付請求書提出時点(雇用予定)、第2・四半期交付請求書提出時(4月以降)等に、「雇用継続中」又は「前職からの変更の理由」(科)、「変更理由」(変更理由)を記載してください。
 - ⑧ 備考欄にて、年度途中に雇用期間を変更する場合は、「科」を選択し、備考欄に「変更理由」を記入してください。(本人及び関係者の同意、育児、介護の届出及び本人の専任理由と併せて記載する場合は、特別研究員としての雇用を申請し、当該中絶等の期間を上限として、特別研究員としての雇用期間を延長することが可能です。)

- ※2 雇用予定期間
- ① 3 受入研究員職種の変更等により、年度途中から雇用期間を変更する場合は、「前年度までの支給実績」(研究助成金、雇用支援金)については、雇用開始時点の情報としてください。また、「今年度請求予定額」については、雇用開始時点の金額としてください。

- ※3 雇用PO等1人あたりの支援金総額の支出状況(今年度見込)(※3)
- ① 今年度見込の額は、この金額を上限に記入すること。

- ※4 雇用支援金の支出状況(※4)
- ① 今年度見込の額は、この金額を上限に記入すること。

★ 提出前に、改めてご確認ください★

- この「雇用対象者リスト」は、Excel版とPDF版2種類を本会に提出してください。本会では、基本的にはPDF版で内容を確認し、Excel版は計算結果などで疑義が生じた場合に使用します。
- PDF版については、「見切れ」がないようにしてください。
- セルに入力する文字数がセル幅に対して多い場合、適宜折り返し(横断り)をいただき、PDF版で文字が確認できる大きさとしてください。